



GMO リサーチ株式会社

2021 年 12 月期第 3 四半期決算説明動画公開

2021 年 11 月 8 日

イベント概要

[企業名]	GMO リサーチ株式会社		
[企業 ID]	3695		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 12 月期第 3 四半期決算説明動画公開		
[決算期]	2021 年度 第 3 四半期		
[日程]	2021 年 11 月 8 日		
[ページ数]	20		
[時間]	17:00 – 17:11 (合計：11 分、登壇：11 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	1 名 代表取締役社長 細川 慎一（以下、細川）		

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

目次

1. 結論と要約

2. 決算概要

3. 事業の概況

Appendix

細川：GMO リサーチ株式会社、代表取締役社長の細川です。これより 2021 年 12 月期第 3 四半期の決算説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、本日はこちらのアジェンダで進めさせていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

結論と要約 | Q3 (1-9月) 決算サマリー

- 売上高は前年同期比+19%。アウトソーシング/D.I.Yサービス、国内/海外のすべてのカテゴリにおいて3Q期間過去最高売上を達成。
- 売上増加及び原価率改善により、各段階利益についても大幅に増加

(単位: 百万円)	2020 (1-9月)	2021 (1-9月)	増減額	増減率	
売上高	2,401	2,864	+463	+19.3%	3Q累計/3Q単独 過去最高
営業利益	104	225	+121	+116.4%	3Q単独 過去最高
経常利益	72	253	+181	+248.6%	3Q単独 過去最高
最終利益	55	175	+120	+218.7%	

GMO RESEARCH

4

一番初めは結論と要約になります。当社の第3四半期までの累計のサマリーになります。

売上高で約19.3%増、営業利益で116.4%増、経常利益で248.6%増、最終利益で218.7%増。対前年で確実な成長トレンドが継続しておりまして、売上につきましては第3四半期として、また第3四半期までの累計期間としても過去最高を達成、営業利益や経常利益についても第3四半期として過去最高を記録しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



結論と要約 | 営業利益推移

- 調査案件の順調な増加や原価率改善により、粗利は前年同期比+305百万円
- 販管費は前年同期比+183百万円、営業利益は前年同期比+121百万円



5

次に営業利益の推移になります。

グラフ化するとこういった形になっておりまして、対前年で調査案件が堅調に成長しているために、売上高が4億6,300万円増加し、それに対して調査の実査工程の稼働率の上昇、そのほか生産性改善の取り組みにより原価率が改善いたしました。その結果、粗利が対前年度比3億500万円増となりました。

販管費については、人件費や広告宣伝費、販促費などの増加がありますが、来期以降の成長のために先行投資も意識した適切なコントロールをして積極的投資をしております。その結果、営業利益は対前年同期比1億2,100万円増となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

結論と要約 | 当初通期業績予想に対する進捗

- 当初の通期業績予想に対し、売上高および各段階利益ともに順調に進捗
- 第3四半期までの進捗率及び第4四半期の見通しにもとづき、当初の通期業績予想を修正いたしました（次ページ参照）。



GMO RESEARCH

6

次に、2021年の当期の通期業績予想に対する進捗です。

売上高は進捗率77%、営業利益以下の各段階利益についても順調に進捗いたしました。その結果、第3四半期までの状況および第4四半期の見通しを加味して、当初の業績予想を修正させていただいておりますので、次のページでご説明させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

結論と要約 | 通期業績予想/配当予想の修正

- 2021年度の通期連結業績予想及び配当予想の修正値は下記のとおりです。
- 調査案件の好調な受注、原価率の改善、営業外損益の順調な推移等の状況に鑑み、修正をいたしました。

(単位: 百万円)	2020年度実績	2021年度 当初業績予想	2021年度 修正業績予想	対前期実績 増減	対前期実績 増減率	対当初予想 変動額	対当初予想 変動率
売上高	3,394	3,734	3,980	+586	+17.2%	+246	+6.6%
営業利益	263	290	320	+57	+21.3%	+30	+10.3%
経常利益	241	265	350	+109	+45.2%	+85	+32.1%
最終利益	175	190	240	+65	+36.6%	+50	+26.3%
1株当たり 当期純利益(円)	107.73	116.52	147.07	+39.34	+36.5%	+30.55	+26.2%
総配当性向(%)	50.0%	50.0%	50.0%	-	-	-	-
1株当たり 年間配当額(円)	53.86	58.25	73.53	+19.67	+36.5%	+15.28	+26.2%

GMO RESEARCH

7

本日リリースさせていただいた2021年12月期の業績予想の修正値はこちらに記載の通りです。

当期の期首から第3四半期まで調査案件の好調な受注や原価率の改善傾向が継続していること、また、営業外損益も順調に推移していることから、足元の受注状況、第4四半期の予想も考慮し、業績予想を修正させていただきました。また、それに合わせて一株当たり年間配当額の予想額も変更させていただいております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



決算概要 | 連結損益計算書

(単位：百万円)	2020年 1-9月	2021年 1-9月	前年比
売上高	2,401	2,864	119.3%
売上原価	1,326	1,483	111.9%
売上総利益	1,074	1,380	128.4%
(売上総利益率)	44.8%	48.2%	+3.4pt
販売費及び一般管理費	970	1,154	118.9%
(販管費率)	40.4%	40.3%	▲0.1pt
営業利益	104	225	216.4%
(営業利益率)	4.3%	7.9%	+3.6pt
経常利益	72	253	348.6%
当期純利益	55	175	318.7%

GMO RESEARCH

9

次に決算概要になります。

こちらは連結損益計算書になりまして、先ほどの結論と要約でご説明させていただきましたので、割愛させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



決算概要 | 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2020年 12月末	2021年 9月末	前期末比
流動資産	1,823	2,034	111.6%
現金及び現金同等物	913	1,245	136.4%
固定資産	408	404	99.2%
資産合計	2,231	2,439	109.3%
流動負債	739	850	114.9%
固定負債	8	17	194.1%
負債合計	748	867	115.9%
純資産	1,483	1,571	106.0%
(純資産比率)	66.5%	64.4%	▲2.1Pt

GMO RESEARCH

10

次に連結の貸借対照表になります。

前期末からバランスシートの構造に大きな変化はなく、安全性の高い財務状況を保っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



事業の概況 | サービス別売上高推移

- アウトソーシング+18.0%(100百万円増)、3Q累計/3Q単独期間で過去最高売上
- D.I.Yサービス+42.2%(92百万円増)、3Q累計/3Q単独期間及び四半期最高売上
- D.I.Yサービスの売上高構成比は31.1% (前3Q27.7%) に増加。



GMO RESEARCH

12

次に事業の概況になります。まずはサービス別売上高の推移です。

アウトソーシング売上は前3Q比でプラス18%。D.I.Yサービス売上は前3Q比でプラス42.2%となり、両方とも3Qまでの累計期間および3Q単独期間として過去最高を記録しました。D.I.Yサービス売上については、四半期売上として過去最高を達成しております。特にD.I.Yサービスについては、昨年はコロナ禍の影響で特に海外のほうで売上成長の鈍化がありましたが、再び強い成長力を回復してきております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 前3Q比で、国内売上+23.8%(+139百万円)、海外売上+34.7%(+70百万円)
- 国内売上・海外売上ともに、3Q累計/3Q単独期間で過去最高売上を達成



13

次に、国内・海外の売上高推移になります。

国内の売上は対前年 3Q 比でプラスの 23.8%。海外売上は同 3Q 比でプラスの 34.7%となりました。国内海外ともに案件受託が順調に推移し、3Q までの累計期間および 3Q 単独期間として過去最高を記録しました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業の概況 | 中期的成長シナリオ

- 競争力の源泉であるアジア16の国と地域における4,418万人超の消費者へのリーチ力をベースに、①地域深耕・エリア拡大、②販売商品の充実、③データ・AIを生かした業界変革の3軸で中長期的に安定した成長を目指します。



14

次に、年始にもご説明させていただきました中期的な成長シナリオのご説明になります。

当社の競争の源泉でありますのは、アジアのクラウドパネルといいます16の国・地域の4,418万人をベースに当社の中でもパネルといった形で、調査にご協力いただける方々の会員組織を維持していることでございます。

この方々との信頼関係のもと、当社がご案内した調査案件に関しましては、そのパネルの方々が安心して調査に協力いただき、データを当社にお預けいただくといった信頼がおりなす非常に強い関係になります。

この関係があるからこそ、当社は競合他社に比べて比較的優位な立場にありまして、ここが参入障壁としては非常に重要なポイントでございます。ここの地域の深耕・エリアの拡大というものがベースのベースにありまして、これが強くなっていくからこそ、この次の参入障壁が強くなり、おまけに新しい商品を提供して成長できると考えています。

ですので、一つ目の地域深耕・エリア拡大、二つ目がそれをもつての販売商品の充実。三番目は、これらのお客様から消費者の方々からいただいた、お預かりしたデータをもって、このデータを世

サポート

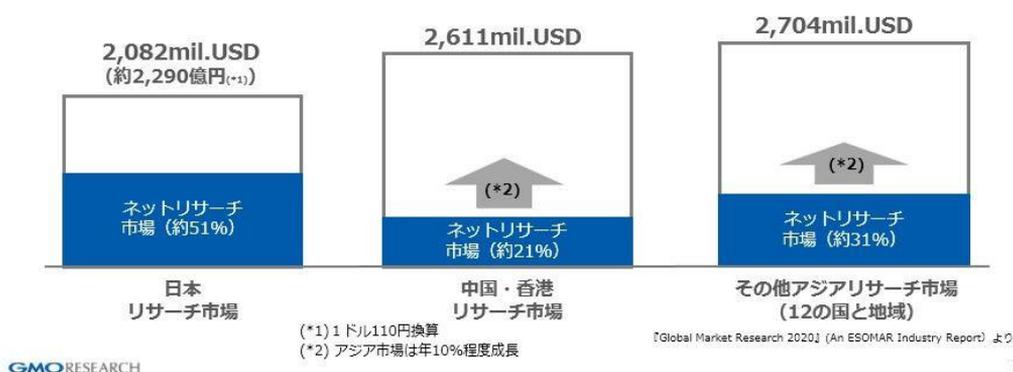
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



の中の改善等に有効に活かしながら AI 等でマーケティングの提案を最適化していく。そういったことに活かしていくというのが当社の中での流れの中期の成長の3本の矢となっております。

①地域深堀・エリア拡大 | アジアリサーチ市場

- アジア地域のインターネットリサーチ市場はオンライン化が進み、今後さらに拡大すると予想
- 欧米企業と比較し、日本からのアジア展開は地理的、文化的優位性あり
- まだアジア調査でのビッグプレイヤーは不在のため、圧倒的No1を目指す



まず一つ目のエリア拡大・アジアリサーチ市場です。

ここに示す通り、日本と同じように大きな市場が中国・香港、その他リサーチ市場にございます。ネットリサーチの比率はどんどんとアジアの中でも拡大をしてくれておりまして、ここのアジアのわれわれがおりますパネルサンプル市場というこのエリアなのですが。

このエリアにおきましてはアジアが世界の中でも最も強い成長を現在も過去もしておりまして、約10%の成長を継続して行ってきております。

これからも10%程度の成長を中長期にわたってしていくであろうという見通しをESOMARといえます世界のリサーチ協会のほうから出しているレポートで出されておりますので、当社が属しているエリアのマーケットは今後も強く成長していくと見ております。

おまけに当社のシェアが、その中で拡大スピードも加えまして10%以上の強い成長を継続していけると考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiasia.com

①地域深堀・エリア拡大 | パネルネットワーク

- アジア16の国と地域で4,418万人超の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能であり、競争力、提案力が高くなる
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を進めます。
- 2021年には、**インドでの自社運営パネルのリリース、アラブ首長国連邦 (UAE) でのパネル新規追加**を行いました。



16

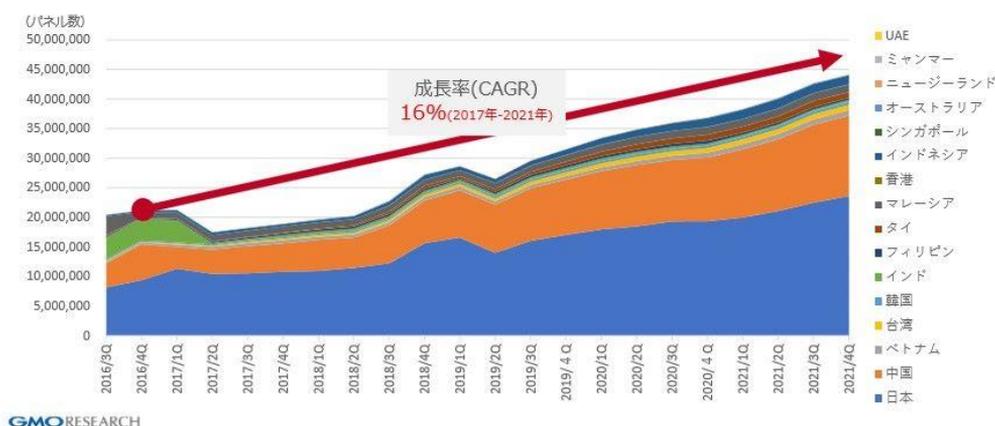
次に、パネルネットワークとして現状こういった国々でのパネルを持っておりまして、ここは拡大を続けてきております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

①地域深堀・エリア拡大 | ACPの成長

- 競争力の源泉である業界最大規模のアジアクラウドパネルは、過去5年平均成長率(CAGR)16%で成長中(直近4年間ではCAGR23%)



17

次に、そのパネルの成長スピードを示したもので、5年間のCAGR16%で成長中でございます。

今後も継続してここを成長させていくことによって、売上トップラインが拡大していくと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

②販売商品の充実 | 2021年の方向性

- マーケティングリサーチ業界の市場の変化に対応した事業展開により成長を目指します。
- 具体的には、顧客ニーズに適合させた「MO Insights」「MO Liteアンケート」「MO Liteインタビュー」等の商品のウェブマーケティング活動を実施し、新規顧客の開拓活動を行います。

<マーケティングリサーチ業界での市場の変化>

- ①定性調査のオンライン化・・・インタビュー等の定性調査が急速にオンライン化
- ②小型化・スピード重視・・・D.I.Yで安価に、スピード重視で、リサーチの内製化が進展



GMO RESEARCH

18

次に、商品の充実としては、特にコロナになって定性調査といわれる実際にアンケートではなくインタビューや、そういった調査がオンライン化される場所。それとアンケート自体も小型化、スピード化、D.I.Y化されていくところ。

併せてインタビューに関して小型化、スピード化までもされていくという、この三つの世の中の変化に即したサービスを提供してございまして、ここでもお客様の新しい層、今まで調査をやったことなかった層も取り込んで拡大を続けているといったところでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

③データ・AI | MO-CDP

- 「MO CDP byGMO」サービスでは、アジアクラウドパネルから集めたプロフィールデータ、アンケート回答データ、行動データ等のゼロパーティーデータ(*)を各種マーケティングプラットフォーム等で連携・活用しやすいようにDWHに格納し、データの公開をしております。
- このサービスを通して、マーケティングへのデータ活用の提案活動に取り組んでいます。その一環として**2021年6月に台湾に駐在員事務所を設立**しました。
- また、AIとデータを活用してアンケートの回収可否の予測精度の向上、アンケート回答品質の改善、会員のアクティブ率の改善等に取り組んでいます。



(*)ゼロパーティーデータとは
ユーザーが何らかの対価を得ようと自ら企業に提供するデータ。「同意を得た1stパーティーデータ」とも転称される。読者企業のフォレストアスターが2018年11月に命名した用語です。
GDPR (EU一般データ保護規則) やCCPA (カリフォルニア消費者プライバシー法) に見られるように、データに関する同意の必要性の重要性が増している現状、ゼロパーティーデータはプライバシーを守りつつ、精緻な情報を収集する手法として活用できるデータです。

GMO RESEARCH

19

次にデータは MO-CDP といったところにお客様のデータをお預かりしております、これはお客様の消費者の方々が安心して預かっていただいているデータですが。

このデータを活用して、パーミッションを取っておりますので、そのパーミッションの範囲内でのいろいろマーケティングの改善に活用しているといったところになります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2021年の主なリリース

日付	タイトル	URL
2021/1/12	GMOサーチとLupeが協業 新規事業開発のための調査に特化したオンラインインタビューサービスを提供開始～課題発見のためのリサーチ設計と対象者リクルーティングをオンラインで支援～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210112
2021/4/1	オンラインインタビューサービス「MO Liteインタビュー byGMO」基本料金が無料になるキャンペーンを実施	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210401489135_P01_.pdf
2021/4/19	2021年04月19日インドで自社運営のアンケートパネルサイト「Z.com Research India」をオープン	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210419496172_P01_.pdf
2021/7/1	「MO Liteアンケート byGMO」でさらにお得な『バウチャープラン』を提供開始！～本日7/1より、先着20社限定の半額キャンペーン開始～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210701
2021/7/7	台湾駐在員事務所設立に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210706462732_P01_.pdf
2021/7/14	ACP16か国目となるUAEパネル提供開始のお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210713466297_P01_.pdf
2021/7/19	『日本ビジネススクール・ケース・コンペティション2021』の参加学生に対し「MO(エムオー) Lite(ライト)アンケート byGMO」を無償で提供～GMOリサーチが応援企業として参加～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210719
2021/8/5	オンラインインタビューサービス「MO Insights byGMO」でビジネス領域のインタビューに特化した「MOビジネスインタビューパネル」を無料提供開始	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210805
2021/8/23	事業計画及び成長可能性に関する説明資料	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210819488026_P01_.pdf
2021/8/23	新市場区分「グロス市場」選択に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210819488046_P01_.pdf
2021/9/6	Googleフォームの分析が「Market Observer byGMO」で無料利用可能に	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210818487665_P01_.pdf

GMO RESEARCH

20

主なリリースはここに示した通りで出ておりますので、またご興味ありましたらご覧いただけましたらと思います。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



Appendix

- 当社のフィロソフィー
- ビジネスモデル①②
- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとD.I.Y.サービス
- 商品ラインナップと商品説明
- 各拠点人員数推移

Appendix はこういったものが入っておりますので、こちらも参考にさせていただければと思います。

「想いを、世界に GMO リサーチ」。

以上を持ちまして第3四半期の決算説明会を終了いたします。本日はお時間、ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

